

# しろや！ 広島城



No.84

## 被爆樹木ユーカリ特集

現在、史跡広島城跡内には被爆樹木と認定されている樹が5本存在しており、来城者に被爆の惨禍と樹の持つ生命力について伝えてくれています。今回の「しろや！広島城」ではその中の1本、二の丸のユーカリ（写真1）について特集します。



写真1 現在の被爆樹木「ユーカリ」北東から 令和7年（2025）5月19日 撮影：広島城

### 1. 被爆樹木ユーカリの樹形についての一考察

ユーカリと言えばまっすぐ上に伸びた樹のイメージですが、この二の丸のユーカリは何とも複雑に枝分かれしたずんぐりとした形です。なんでこうなったのかなと…原爆の影響かなと思ひ、2つ仮説を立てて考えてみました。

①この樹は被爆して、幹・枝が柔らかくなっており、枝が上に伸びていく力が弱い。しかし、年数が経過し太くなるにつれて固さは増しているようだ。

②この樹は被爆しても重力屈性（幹や枝が重力に抗して上に伸びようとする性質）を失ってい

るわけではない。年数が経過し太く、固くなると重力屈性は強く現れるようになっている。

写真2は被爆後のユーカリの姿です。爆心から740m、爆風で枝を吹き飛ばされながらも残っていた枝に葉が付き生命力の強さを感じさせます。しかし、被爆による火傷は根元にまで達しており、やがて樹幹は朽ちて空洞になりました。昭和46年（1971）の台風により地上2.5mで折れてしまいましたが、根元からひこぼえが芽吹き、同60年（1985）に撮影された写真3を見ると、再び大きく成長しています。



写真2 被爆後のユーカリ 南から  
昭和20年(1945)10月1日～10日  
撮影：林重男 提供：広島平和記念資料館



写真3 ひこばえが成長したユーカリ 南東から  
「区民だより・なか 昭和60年1月5日号」掲載



写真4 上向きに成長する若い枝  
令和7年(2025)5月21日 撮影：広島城



写真5 大きく湾曲した枝 北東から  
平成17年(2005)1月31日 撮影：広島城

その後も成長を続けたユーカリですが、被爆して変性した細胞から形成された幹・枝は柔らかくなっていました。枝は葉が付くにつれ重くなったため、重力屈性に反して垂れ下がっていったのです。でもよく観ると、細い枝(直径3mm)なら葉の枚数が少なければ枝先は上がっています。そして直径3.5mmでは枚数が増えても、4mmになればより枚数が増えても上がっているのです(写真4)。これは重力屈性が失われていない証拠です。枝先も年数がたてば太くなって固さが増しており、上に上がる力を重力屈性が後押ししていると思われます。

平成17年(2005)1月に撮影された写真(写真5)を見て下さい。わん曲した太い枝・幹を！(矢印)ところが、その20年後に撮影した現在の写真(写真1の矢印)と比較してもらると、わん曲していた枝・幹は直立してこの樹形の中の一番高い樹になっています。幹の固さと重力屈性がなせる術なのです！！

現在、樹の周りで横たわっているわん曲している枝・幹も20年後の被爆100年にはどうなっているんでしょうね！

(広島城ボランティア 恵美勇作)

## 2. 日本とユーカリ

ユーカリは、オーストラリア原産で、コアラがその葉っぱを食べることがよく知られています。近年は観賞用としても人気が高まっていますが、日本にはいつ頃入ってきたのでしょうか。

明治初期、政府は殖産興業の一環として、日本の環境に適していると思われる樹木の種子や苗を輸入し、適性を検査するために試験植栽を行いました。そして「広く内外の植物の収集、その効能・特質・日本での栽培の適否に関する調査、害虫駆除の方法等の研究、種の各府県への頒布」などを目的とした勸農寮新宿試験場を設けました。明治12年(1879)に事業は三田育種場(現東京都港区)へ移されています。この育種場の所属として、神戸には苗木仕立所が設けられますが、その目的は海外暖地産の有用植物の苗木を西日本各地に頒布することでした。

これら施設で扱った植物にはユーカリが含まれていました。記録として残っているものを紹介してみましょう。

- (1) 明治7年(1874)、ウィーン博覧会からの帰り、フランスのマルセイユ港でユーカリの種を入手、持ち帰って栽培した。
- (2) 同年11月、アカシア・ユーカリ等19本を宮崎県へ配布した。
- (3) 同8年(1875)、オーストラリアのメルボルン博覧会の時、メルボルンの植物園と種苗交換の約束をし、日本側からはユーカリとアカシアの種を要求した。
- (4) 同11年(1878)、小笠原島にて、コーヒー1000本余とともに、米国産ゴム・オリーブ・アカシア・ユーカリ等合計200余株を栽培した。ユーカリ・アカシアの生育はよく、将来この2種類を繁殖させれば大いに役立つと見られた。
- (5) 同年9月、兵庫県へユーカリ種子2合(約360ml)、アカシア種子を少量下付した。
- (6) 同年11月、京都府へユーカリ苗木、種子、砂糖楓の苗木を試植のため下付した。
- (7) 同12年(1879)10月、サンフランシスコ領事館にユーカリ種子2斤(約1.2kg)、アカシア種子3斤の取り寄せを依頼。翌13年にユーカリ2ポンド(約910g)、アカシア3ポンドが日本に送られた
- (8) 同年11月、静岡県にユーカリ種子1合(約180ml)を下付した。

そのほか、明治11年(1878)に西ヶ原(現東京都北区)に樹木試験場が設けられており、明治13年(1880)に山口県の出張所において、オーストラリア産ユーカリ15種などの種子を取り扱ったことが知られています。また民間においても、明治9年頃、マラリア病をはじめとする熱帯病に効果があるとして一時各地で栽培されていたようです。

このように明治初期の段階では、まず各施設で種子を輸入し、苗木を国内で育て、それらを各地に頒布するという方法をとっていた様子がうかがえます。その結果、日本におけるユーカリの成長は良いという評価で、なかなか期待されていた感じだったのです。

明治中期から後期にかけては造林試験が行われるようになり、末期には試験段階から樹木の栽培が事業的に行われるようになりました。ところが、その頃にはユーカリは取り扱われなくなってしまうのです。いったい何故そうってしまったのか理由はわかりませんが、事業として栽培を行う魅力が当時は無かったということなのでしょう。

さて、二の丸の被爆ユーカリはいつ、なぜ植樹されたのでしょうか。当時ユーカリがマラリア等に効果があるとされたことから、戦地で役に立つとして陸軍用地となっていた広島城内に植えられたのではないかという説がありますが、二の丸に1本だけというのが妙な感じですが、明治初期にオーストラリアから友好の記念として贈られた1000本の苗木の1本であるという説もあります。その数の苗木を船で輸送することが当時の輸送能力で可能だったのかが問題です。前述のとおり、明治初期には輸入された種から育った苗木が各地に配られているので、そうしたの苗木の1本が広島城内に植えられたのではないのでしょうか。



結局のところ、いったい誰が、何の目的で植えたのか、はっきりした事は何も分かりませんが、まさか時を経て、平和の尊さを世界中の人々に伝える有名な樹になるとは思いもしなかったことでしょう。(本田美和子)

★毛利輝元没後400年記念事業について

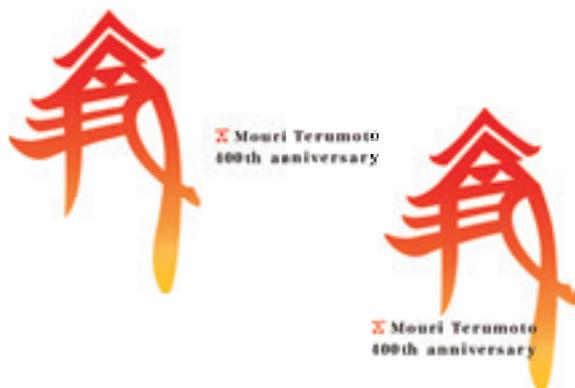
令和7年(2025)は、広島城を築き、現在のまちの姿に受け継がれる城下町「広島」の基礎を作った大名・毛利輝元没後400年に当たるとともに、被爆80周年にも当たるため、輝元をテーマとする様々な記念事業を開催し、被爆以前の広島の歴史・文化、被爆からの復興への歴史の発信を通じて「平和への想い」の共有を図ることとしています。

★記念事業ロゴマークを作成

この記念事業を実施するにあたり、若い世代に興味を持ってもらい、毛利輝元が「広島」の基礎をつくったという広島の歴史に触れてもらいたいと考え、広島市立基町高等学校創造表現コースの生徒にロゴマークを作成していただきました。

【デザインコンセプト】

ターゲットを若者に絞り、広島城を築城した毛利輝元を連想させつつ、目を引く色や形にこだわったデザインになるよう、輝元自身の花押を元に広島城の屋根の形や、輝元ゆかりの甲冑の朱色を取り入れています。



★事業内容

- 毛利輝元の半生、功績などを紹介するイベントの開催  
開催日：令和7年11月16日(日)  
会場：JMSアステールプラザ 中ホール
- デザインマンホールの設置  
毛利輝元や広島城をイメージしたデザインマンホールを広島城の近くに設置します。
- 城イベントへのブース出展  
「特別版お城EXPO in 松江2025」に参加しました！  
日時：令和7年6月28日 9時～18時  
6月29日 9時～17時  
会場：島根県立産業交流会館くびきメッセ  
(島根県松江市学園南1丁目2-1)

各事業についての詳細は決まり次第、広島市・広島城のホームページや、特設サイト、市広報紙「ひろしま市民と市政」でお知らせする予定ですので、ご確認ください。  
(広島市市民局文化スポーツ部文化振興課広島城活性化担当)



毛利輝元銅像  
令和7年4月27日にお披露目されました。  
広島城二の丸の内堀を挟んだ南側で皆さんをお待ちしております！

**しろや  
!  
広島城**

編集  
公益財団法人広島市文化財団 広島城  
〒730-0011  
広島市中区基町21-1  
電話：082-221-7512  
FAX：082-221-7519

発行  
広島城アソシエイツ  
令和7年7月24日発行

広島城利用案内  
開館時間：9：00～18：00  
(5～8月の土・日・祝は19：00まで開館  
12月～2月は9：00～17：00)  
入館の受付は閉館の30分前まで  
観覧料：大人370円(280円) 中学生以下無料  
高校生相当・シニア(65歳以上)180円(100円)  
( )内は30名以上の団体料金  
休館日：12月2日、12月29日～31日(臨時休館あり)  
ホームページ <https://www.hiroshimacastle.jp>